



平成 21 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社コロナ  
代 表 者 代表取締役社長 内田 力  
(コード番号 5909 東証第 1 部)  
問 合 せ 先 常務取締役常務執行役員経理部・  
広報室担当兼経理部長  
及川 良文  
(TEL 0256-32-2111)

## 連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 5 月 15 日に公表した業績予想および 1 株当たり配当予想を以下のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 業績予想の修正

(1) 平成 22 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)  
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 21 年 5 月 15 日発表)	77,800	1,100	1,100	500	17 円 44 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	76,500	580	580	190	6 円 61 銭
増減額(B-A)	△1,300	△520	△520	△310	—
増減率(%)	△1.7	△47.3	△47.3	△62.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	75,707	934	1,370	124	4 円 33 銭

### (2) 修正の理由

上半期については、記録的な冷夏等、天候不順の影響や販売価格競争の激化などから夏場のエアコン販売が不振だったほか、景気の低迷、新設住宅着工の激減などにより、エコキュートも伸び悩みました。下半期については、従来の石油暖房に電気暖房を加えた「トータル暖房」を推進するほか、需要が回復傾向にある石油給湯機についても高効率機種を投入するなどして強化を図ってまいります。また、エコキュートについても、新築の住宅着工が低迷する中で、既築住宅リフォーム市場の開拓も行っています。しかし、景気回復の遅れや販売価格競争の激化等により、当社を取り巻く環境は依然厳しい状況が続くと予測しております。これにより、平成 21 年 5 月 15 日に公表した通期の連結業績予想を修正し、売上高は 765 億円となる見込みです。利益面についても、販売価格の維持に努めるとともに、全社的なコストダウンと経費削減を徹底してまいります。営業利益 5 億 80 百万円、経常利益 5 億 80 百万円、当期純利益は 1 億 90 百万円となる見込みです。

## 2. 配当予想の修正

### (1) 修正の内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	11円50銭	11円50銭	23円00銭
今 回 修 正 予 想		6円00銭	17円50銭
当 期 実 績	11円50銭		
前 期 実 績 (平成21年3月期)	11円50銭	11円50銭	23円00銭

### (2) 修正の理由

平成21年5月15日付「平成21年3月期決算短信」において公表した平成22年3月期の期末配当予想については、平成22年3月期通期連結の業績が当初計画を下回る見込みであることから、期末の配当金については、1株当たり11円50銭から1株当たり6円に修正させていただきます。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上